

# 越百のしずく発電所の運転開始について

令和 7 年（2025 年）12 月 25 日  
企業局 電気事業課 水野、北沢  
電話：026-235-7375（直通）  
E-mail：kigy@pref.nagano.lg.jp

上伊那郡飯島町の与田切川で発電を行う「越百のしずく発電所」が企業局26番目の発電所として  
R7.10 運転を開始（名称は「越百山を源とする与田切川の一滴が大きなエネルギーになることを願って」との  
飯島中学校生徒の提案を採用）



取水設備



発電所建屋



水車発電機



信州大学工学部による発電所見学

## 【諸元等】

項目	越百のしずく発電所
最大出力	1,500kW
最大使用水量	1.80m <sup>3</sup> /s
有効落差	106.92m
年間発電電力量	5,500千kWh 【1,500世帯分】

# 【今回の取組の特長】

## ① 既設発電所上流のきれいな水を利用して発電

- 発電後の水を下流の「与田切発電所」や「飯島町水道用水」で再利用
- 出水の度に水が濁るという課題を解消、与田切発電所の発電量増、水道用水の維持管理負担を低減



既設の「与田切発電所」と飯島町水道施設。出水時の濁水対応が課題だった。

## ② 河川環境に配慮した取組

- 取水設備に魚道を整備
- 地域の研究者や地元漁協、町と連携して魚の生息支援に取り組み



取水設備に設置した魚道



人工産卵場でのイワナ産卵状況観察

## ③ 環境価値に着目した新たな売電方法

- 新規発電所の電力という環境価値に着目
- RE100加盟企業\*であるセイコーエプソン(株)と直接契約し電力供給（新規開発に伴う売電方法としては全国の公営電気での初の取組）

\* 事業で使用する電力を100%再エネで賄うことを目指す国際的な取組に参加する企業



新たな売電の取組紹介



しゅん工式（テープカットとくす玉開披）

建設か所の環境や地域との連携に配慮するとともに、電力の供給方法など検討しながら新規電源開発を推進